

新モビリティ導入に向けた検討状況について

南河内地域での実証実験（先導的モデル事業）

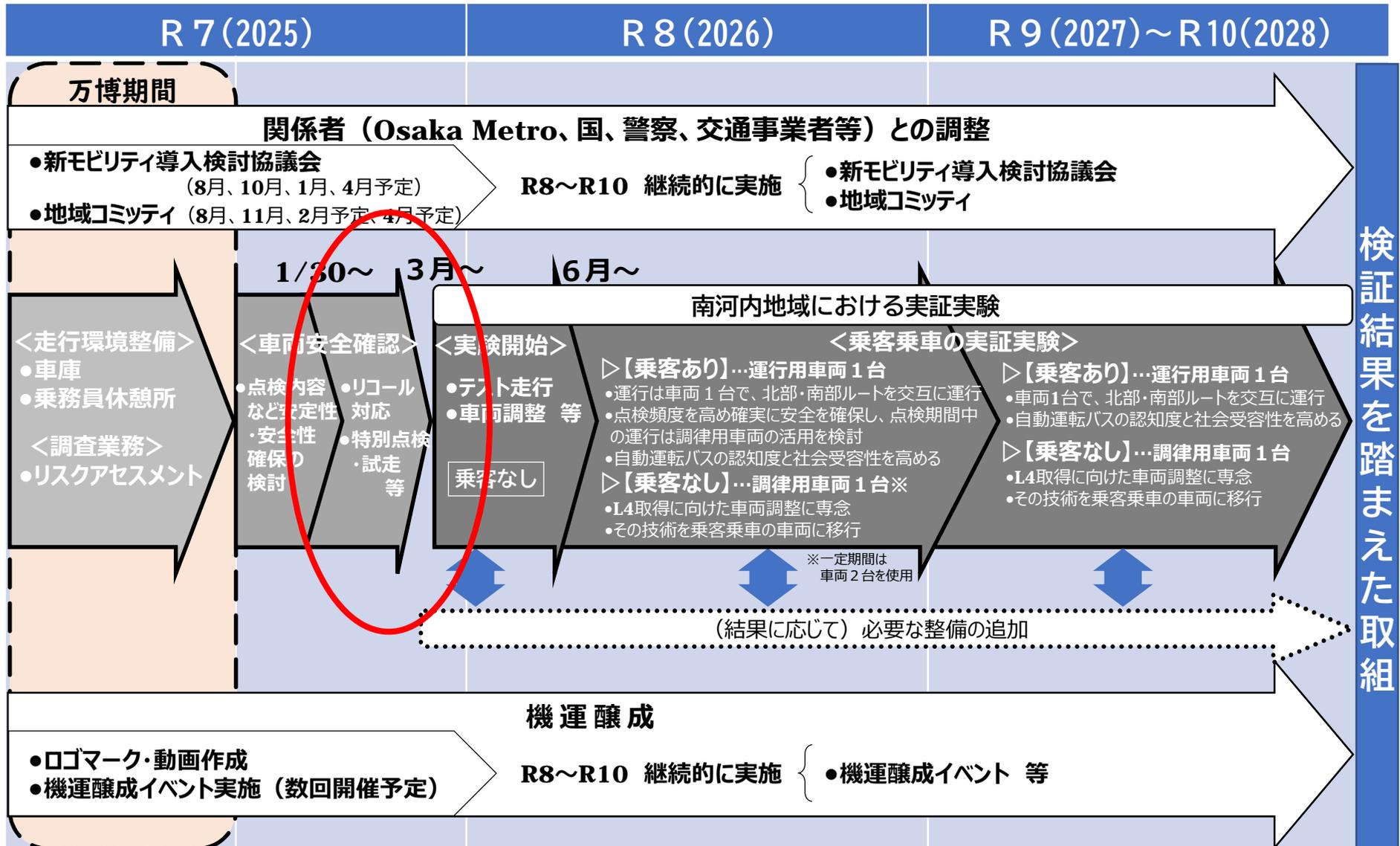
目次

- 1. 車両の特別点検等の状況** **P 1**
- 2. 今後の進め方** **P 3**
- 3. 機運醸成の取組** **P 4**

1. 車両の特別点検等の状況

(出典) 第7回新モビリティ導入検討協議会資料

■これまでの全体スケジュール



検証結果を踏まえた取組

実証実験結果をフィードバックのうえ、市町村の取組に繋げる

1. 車両の特別点検等の状況

■ 特別点検・試走のスケジュール

(出典) 第7回新モビリティ導入検討協議会資料

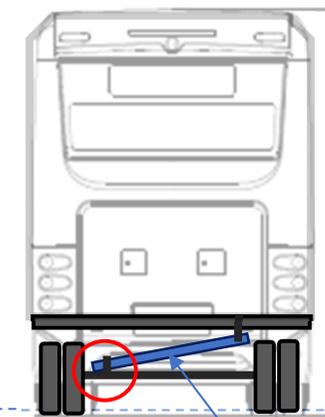
～2026年1月	2月	3月	4月	5月	6月
点検内容など 安定性・安全性 確保の検討	特別点検・試走 (約1.5か月)	実証実験 (テスト走行・車両調整など) (約3か月) 一定周期ごとにメーカー点検実施		運行見極め	実証実験 (乗客乗車)

■ 現状・経過等 (特別点検・試走の状況)

- 1月30日、特別点検・試走開始
- 2月25日、試走中の一部車両において、ラテラルロッド取付部の破断が判明。EVMJ社において原因究明開始
→ Osaka Metroから大阪府へ2月26日に一報
- 2月27日、不具合の事象についてEVMJ社より国交省へ報告
- 3月16日、EVMJ社から、引き続き破断部品の原因解析中との状況報告受領。

(不具合の事象)

- 日時：2026年2月25日 (水) 10:00頃
- 場所：EVMJ社テストコース
- 概要
試験走行中、リアアクスル付近から異音を確認
走行試験を中止し、床下を点検した結果、ラテラルロッド取付部の破断を確認
- 試験走行距離：約2,700km
- 被害状況：人的被害なし



ラテラルロッド

※ラテラルロッド：車軸（アクスル）と車体を左右につなぎ、横方向の剛性を支える部品（斜めに設置されている）

2. 今後の進め方

■ 今後の対応について

◆ Osaka Metroの見解

- 不具合の原因究明中であるため、現時点で車両の安全性の担保が取れないことから、3月からのテスト走行は実施できない（開始時期は延期になる）。また、3月28日のイベントでのバスの走行・展示は見合わせたい
- また、不具合原因究明等の時期についても目途が立たない状況であり、早期の実証実験（テスト走行）の開始は難しい状況。
- これらの状況を踏まえ、本実証実験における使用車両について、検討が必要な状況と認識



■ 対応方針

- **実証実験で走行する自動運転バスの安全性を確保することが最も重要**
不具合の原因調査中のため、
 - ・ 3月から実証実験（テスト走行）開始は延期
 - ・ 3月28日のイベントでのバスの走行・展示は見合わせ
- EVMJ社からの原因究明等の状況を見据え、次回協議会に向け、EVMJ車両に拘らず、使用車両についても検討を進める

3. 機運醸成の取組

■新モビFESTA in 南河内地域（太子町・河南町・千早赤阪村とのコラボイベント）

【開催日時】	3月28日（土） 10時00分から15時00分
【開催場所】	楠公誕生地前広場（千早赤阪村）『くすのき市』 白木山公園（河南町） 『かなん桜まつり』『いちごマルシェ』 太子・和みの広場（太子町） 『マルシエたいし』
【目的】	南河内地域において、持続可能な地域公共交通を確保するため、 万博レガシーである自動運転技術等を紹介 することにより、『南河内新モビリティプロジェクト』での実証実験に向けた 地域住民の機運醸成及び社会受容性の向上 を図る
【出席者】	森岡副知事、地元選出議員、首長ほか
【ブース出展】	自動運転クイズ・オリジナルグッズ配布 万博関連パネル展示 万博時の自動運転走行の動画放映 車載用レーダー（LiDAR）の展示 ※その他、環境農林水産部のブース有り
【ミyakumiyaku】	着ぐるみ（千早赤阪村）、バルーン（河南町）、ミyakumiyaku像（太子町）